

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県山武市
 本事業の担当部局名 保健福祉部 健康支援課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		3.1.1 その他、結婚、妊娠、出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
個別事業名		山武市母子保健啓発・相談事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成19年度
総事業費(A)(円)		128,398		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	128,398
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		128,398						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	70,500	0	47,998	9,900	
	対象経費支出予定額	0	0	70,500	0	47,998	9,900	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	0	0	128,398		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	128,398		
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0			
○		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 過年度に引き続き、結婚や出産・子育ての希望が叶えられるように、一人ひとりに寄り添いながら相談、支援を行う。その際、EBPMを意識した事業を推進するため、実施後に事業対象者に丁寧にアンケート調査等を行い、次年度以降により効果的な取組を行えるように留意する。 また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本個別事業は、妊婦とパートナーやその家族に妊娠・出産・育児についての正しい知識や手技を普及することで、親・家族としての意識を高め、不安軽減を図ることを目指すものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	パパママサロン(両親学級)	妊婦とパートナーやその家族を対象に、妊娠・出産・育児について具体的にイメージできるように、助産師・栄養士・歯科衛生士による集団指導を行い、知識の普及や育児手技の確認及び沐浴体験を実施する。*1クール:2日間(平日と日曜日)×3回実施し、50名参加予定。 対象者への個別通知のみならず、当市のホームページや広報紙、保健事業案内、妊娠届出時面接でも周知を行うことで、地域全体でこども・子育てを応援する気運醸成を図る。					
	2							
	3							
		<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【課題】新型コロナウイルスが5類に移行し、令和6年度より、沐浴練習・妊婦体験ができる集団指導を再開し、令和7年度も継続している。年3回の実施に伴い、出産予定日が妊娠5か月での参加となる妊婦もいる。就労妊婦・外国人妊婦・妊娠届出時未婚・ステップファミリーの増加に伴い、妊婦のみでの参加もあり、参加率への影響が見込まれる。【取組】ハイリスクも含めた初産婦・参加希望の経産婦への勧奨通知・必要なケースへの個別勧奨を継続する。</p>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生者数(R6年からR8年)		人	800 (R6年からR8年累計)	315 (R6年)
	結婚する意欲のある独身者の割合		%	81.3 (R8年度)	69.5 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.88 (R6年)	
	婚姻件数		件	96 (R6年)	
	婚姻率			2.1 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加者	人	50 (R8年度)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					